

| | | | | | |
|--------|---|--|--|--|--|
| 学校教育目標 | たがいにひびき合う学校(学び合う・認め合う・生かし合う) ○互いに学び合い、主体的に問題を解決していく力を伸ばし、自分の生き方をたくましく切り開いていく子を育てます。(知) ○様々な人とのかかわりのなかで、互いに認め合い、共に高め合う子を育てます。(徳) ○自分や他者の生命を尊び、自ら健やかな体をつくる子を育てます。(体) ○地域の人やものとのかかわりを大切に、互いに認め合い共に生きる子を育てます。(公) ○様々な人とのコミュニケーションを通じて、互いに生かし合う子を育てます。(開) | | | | |
| | 学校概要 創立 68 周年 学校長 山本 加奈代 副校長 足立 渉 2 学期制 一般学級: 19 個別支援学級: 3 児童生徒数: 647 人 主な関係校: 岩井原中学校 稲荷台小学校 | | | | |

| 教育課程全体で育成を目指す資質・能力 | 岩井原中ブロック | 小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組 |
|---|-----------------------------|--|
| <協働して課題解決する力> <言語能力・表現力> <自分づくりに関する力> | 岩井原中学校 稲荷台小学校 富士見台小学校 | ○相手の気持ちや立場を理解できる児童、生徒 ○人に対する優しさ、思いやりの気持ちをもつ児童、生徒 ・合同授業研究会を通して、授業改善や授業方向上、系統性の理解を図る。 ・合同研修会等を通して、児童・生徒の指導上の課題解決を目指す。 ・運動会やミュージックフェスタ等の行事を通して、児童と生徒の交流を促す。 |

| | |
|--------|--|
| 中期取組目標 | ○活力と魅力にあふれた、地域と共に子どもを育む学校を創ります。 ・善しあしをわきまえ、社会のルールを守るなどの規範意識と礼儀を大切にする態度を育てていきます。 ・望ましい生活習慣を身に付け、進んで健康・体力づくりに取り組む姿勢を育てていきます。 ・「わかる」「楽しい」「集中できる」授業を展開し、問題解決的学習を重視しながら、思考力、判断力、表現力を高めていきます。 ・集団の一員としての居場所を確立し、他の人のために何かをしようとする姿勢を育てていきます。 ・様々な人とかかわる機会を増やし、視野を広げられるようにしていきます。 |
|--------|--|

| 重点取組分野 | 具体的取組 |
|------------------|---|
| 生きて はたらく 知 | ①児童一人ひとりの意見を大切に、主体的に学び合えるように導入や場の設定、学習形態等の工夫、振り返りの充実を図り、学ぶ楽しさを実感させたり、学年での協働的な教材研究、教材の共有化を図ったりする。②教科担任制、のびのびルームの活用を継続し、児童の実態に合った学びを保障する。 |
| 豊かな心 | ①ペア活動の充実を図り、自他を大切にする気持ちや自己有用感を育成する。友達、教職員、保護者や地域の方々と自らあいさつするよさを実感し、日常生活で実践できるようにする。②自分たちの生活を支えている保護者や地域の方の思いを知り、自分たちも人の役に立つ喜びを味わえるようにする。 |
| 健やかな体 | ①継続的な体力アップにつながる取組を実践し、体を動かす楽しさを実感できるようにする。短縄跳びを中心とした体力づくりを継続し、楽しみながら体を動かす機会を定期的に設ける。②食育、保健の学習のよさを児童が理解し、生活に活かすことができるようにする。 |
| 児童生徒指導 | ①普段の様子や計画的なアンケート、横浜プログラムの実施により、児童の実態を把握し、適切な指導を行う。②児童の問題を担任一人が抱え込まず、学年や学校全体で情報共有し、適切で迅速な対応をしていく。学校カウンセラー、関係諸機関との連携を密にし、よりよい対応を行う。 |
| 特別支援教育 | ①児童一人ひとりのよさを認め合い、普段の授業から自己肯定感を高めるような指導を継続する。②児童指導や児童理解、支援につながる研修を実施し、関係諸機関と連携を図り、保護者と共に担任、学年、児童支援専任、特別支援コーディネーター、管理職がチームとなって解決に向けて取り組む。 |
| 地域連携 | ①地域や保護者と連携しながら、より良い教育活動を展開し、学校教育目標や中期取組目標の実現のために、魅力ある学校づくりを行う。②学校だよりやHP、授業参観や懇談会、各種行事を通して情報発信を年間を通して行い、教育活動への理解と協力、支援をいただく。特に、HPの充実を図っていく。 |
| 学校運営協議会 | ①各部署から選出、構成された学校運営協議会の開催を中心に、教育活動に対する多様な視点による意見をいただき、学校経営に柔軟に反映させていく。②「地域と共にある学校」をさらに実践するために、児童や教職員のあいさつを推進し、互いに顔の見える関係を構築し、かかわり合いを大切にす |
| #REF! | b8 |
| いじめへの対応 | ①年間を通して、相談活動やアンケートの実施を計画的に行い、児童一人ひとりの内面や心情の理解に努める。いじめの未然防止、迅速な状況確認、対応を常に心がける。情報共有を行い、児童支援専任を中心とした組織的な対応、外部関連機関との連携を図る。②日頃から教職員の危機管理意識向上を図る。 |
| 人材育成・組織運営(働き方改革) | ①職員室レイアウトは、継続して働きやすい環境づくりを目指して、職員の考えや希望を取り入れながら進めていく。②人材育成については、全教職員が各々のキャリアステージをもとに設定目標を明確にして取り組む。メンターチームには、先輩教師も助言者として参加し、授業向上、児童指導、教室環境整備や外部講師を招いての研修など、より充実したものにする。 |